



ドッジボール・第3回アルパルクカップ

(9月3日、ホワイトキューブ)

県内外から25チームが参加して行われた大会には、市内からも多くの子どもたちが出場。家族や関係者からの大声援を受け、地元アルパルクキッズが準優勝する活躍を見せました。



▲大活躍のアルパルクキッズ

第33回東北総合体育大会バスケットボール競技会

(8月26・27日、ホワイトキューブ)

東北六県から成年、少年の部の各男女チーム、合計24チームが出場。10月1日から兵庫県で開催される「のじぎく兵庫国体」への出場権を目指して熱戦が繰り広げられました。



▲少年男子 (秋田県 VS 岩手県)

本郷第一自治会・救急応急処置講習会

(8月12日、中央公民館)

婦人防火クラブ主催の講習会には30名が参加。白石消防署員の指導により心肺蘇生法やAED(自動体外式除細動器)の使用方法などを学び、救急措置への理解を深めていました。



▲AEDの講習を受ける参加者たち

魅力ある学校づくりを目指して

白石女子高・中高合同部活動技術講習会

8月、白石女子高等学校で中高合同の部活動技術講習会が開催され、当市を含む仙南各地から多くの中学生が参加しました。卓球、剣道、ソフトテニス競技の運動部で行われたこの講習会は、魅力ある学校づくりに取り組む同校が主催したものです。

8月3日に行われた卓球部の講習会には、世界選手権ダブルス3位の経歴を持つ東北福祉大学の楊玉華さんが講師に招かれ、参加した中学生に熱心な指導を行っていました。



▲楊玉華さんの指導を受ける中学生

友情と相互理解をはぐくみました

海老名・白石少年少女野球交流大会

8月19日、姉妹都市の神奈川県海老名市から少年少女選抜チームを招き、益岡公園野球場で恒例の親善野球交流大会が開催されました。



▲熱戦を展開する子どもたち

毎年、スポーツ交流やホームステイ交流を通じて両市の相互理解を深めようと開催されているこの大会。女子の選抜チームを含めて3試合が行われ、子どもらしい元気はつらつとしたプレーを披露しました。10月には、当市の選抜チームが海老名市を訪問する予定となっています。

地域ぐるみで災害に備えます!

越河地区で自主防災連合会を結成

昨年、市内の113自治会において、地域防災懇談会を開催しました。宮城県沖地震の発生が高い確率で予測されている中、市民の皆さんの防災意識を高め、各地域での自主的な防災組織体制を確立するために開催したもので、8月末現在、19の自治会で自主防災組織が結成されています。

特に越河地区では、すべての自治会で自主防災組織が結成されたことをきっかけに、越河公民館の指定管理者であり、越河地区の地域づくりの中心となっている「越河地域振興会」の防災福祉専門部会の今年度事業として連合会設立を計画。地域全体のネットワークを強めて、効率的に災害に備えようというものです。

当市で初めての自主防災組織連合会の設立総会は、8月22日、越河公民館で開催され、各自治会から約40名が出席。総会に出席した風間市長

は、「当市のモデル地区となることはもちろんのこと、市の防災力向上のためにこれからもよろしく願います。」と祝辞を述べました。

その後、役員選出に移り連合会長に振興会の制野博会長が選出され、事業計画や予算などを提案どおり承認しました。当面は、自治会ごとの防災計画を集約し、地域全体で均等の取れた防災意識の普及活動や各種訓練の計画、災害時の対応手順などの検討を行う予定となっています。



▲越河公民館で開催された設立総会

地元の皆さんに感謝の思いを込めて

白石女子高吹奏楽部の皆さんが奉仕活動

8月27日、市中心部で白石女子高等学校吹奏楽部の皆さんとご家族による奉仕活動が行われました。



▲草むしりも真剣です!

この奉仕活動は、練習や演奏会などで日ごろからお世話になっている地元の皆さんに恩返しをしたいと実施されたものです。参加者の皆さんは、学校周辺や通学路など3班に分かれてごみ拾いや除草を行いました。作業を終えた参加者からは、「地元の方々の役に立てて良かったです。」との声が聞かれました。



▲材木岩をバックにフラダンス

2006年夏の甲子園大会が、西東京代表・早稲田実業高校の優勝で幕を閉じました。決勝戦の相手は南北海道代表の駒大苫小牧高校。宮城県予選の仙台育英高校対東北高校の試合を思い起こすような、延長15回1対1の引き分け再試合。日ごろの練習成果と、代表としての意地とプライドを懸けた戦いは本当に見ごたえがあり、素晴らしい熱戦でした。早実の斎藤投手のインタビューの中に、「優勝をつかめたのは、ベンチに入らなかった数多くの部員や関係者、そして家族の協力のおかげ」と感謝を述べるコメントがありました。また、両校の選手たちは、野球以外の場面でも汗をかき、学ぶことを繰り返した末に栄冠を勝ち取ったという話も聞きました。一人一人の力を結集し、共に協力し合うことを実践した選手たちの試合だ

道や柔道、空手道といった武道関係の小中学生36名と、海老名市から少年少女野球関係の小中学生36名が姉妹都市交流の一環として来白し、対戦相手である市内の児童生徒の家庭にホームステイしました。地元から送り出してくれた家

族、そして迎えてくれた白石の新しい家族、運営に当たった関係機関の人々など、多くの方の協力のおかげでこの事業は成功しました。子どもたちには滞在した家庭での驚きや発見、そして多くの感動があったのではないかと思います。友好親善訪問団として8月3日から11日間の日程でハーストビル市を訪れた12名の中学生も、同じことを感じてきたはずです。子どもたちには、経験によって得た感動と、その機会を与えてくれた周りの人への感謝の気持ちをいつ

までも大切に持ち続けてほしいものです。 「孝」とは、子が心から親や先祖を大切にすることです。「コウ」は、「好(大切に)」や「効(力を尽くす、力をしぼり出す)」と同系と考えることもできるそうです。 京都徳禪寺の橘和尚よりの残暑見舞いに「青山緑水元旧依 明月清風共一家」の句と、「この世の山川は少しも変わらぬ姿でありますのに、人の世は、人心は、なぜにこうも変わってしまったのでありましょうか。痛ましい限りです。」

風間市長の「虫のこころ」 「孝」

【9月号の答え】

「?」(クエスチョンマーク)の語源には①ラテン語の「Question」の頭文字「Q」が変化したという説、②聞き返すときの耳に手を当てるポーズを表したという説、③見慣れない物を発見したときに示す猫のしっぽの形からきた説など諸説があり、特に①の説が有力です。

話は変わりますが、「狼」という動物をご存知ですか?

どの注釈が書かれていました。本当に私もそう思いましたので、「おかげさま」という感謝の気持ちが年々衰退し、『やつてもらうのが当たり前』という気持ちが強くなってきたからですかね。」との返信をさせていただきました。